

令和4年 1月 21日

関東ラグビーフットボール協会 理事長 大原 俊一 様
関西ラグビーフットボール協会 理事長 松原 忠利 様
九州ラグビーフットボール協会 理事長 御領園 昭彦 様

写し)

三支部ラグビーフットボール協会 普及育成委員長 各位
タグラグビーご担当者 各位

(公財)日本ラグビーフットボール協会

専務理事 岩淵 健輔

第18回全国小学生タグラグビー大会 開催中止について

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

公益財団法人日本ラグビーフットボール協会は、2月12日(土)に開催を予定していた「第18回全国小学生タグラグビー大会」の中止を決定いたしました。

標記大会について、開催に向け、関係諸団体と協議を重ね、準備を行ってまいりました。

しかし新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大により①12ブロックあるブロック大会が5つしか開催できず地域が多くが中止を予定していること ②開催日の2月12日時点で東京都にまん延防止等重点措置が出ていること ③小学校チームもあり、市外、県外への移動が難しいチームが出ていること の現状を踏まえ、参加選手や大会関係者そして地域の方々の安全を確保し、安全・安心な大会運営を行うことが困難であると総合的に判断し、誠に残念ながら今年度の大会開催を見送ることと致しました。

尚、大会の延期は行いませんが、代替企画などについては、検討を進めております。

これまで各都道府県の全国小学生タグラグビー大会に向けて多大なるご協力をいただきましたことに感謝も申し上げますとともに、決定についてご理解の上、変わらぬご助力をいただけますようお願い申し上げます。

以上

【参考資料】

今回の全国小学生ラグビー大会の中止の判断については、大会開催リリース（2022年1月14日）時点で、日本ラグビーフットボール協会の中で、以下の基準を事前に定めており、これの基づき今回の中止の判断を行っております。

○大会中止判断基準

- ・東京都もしくは国より「スポーツ大会の開催自粛」などの協力依頼が来た場合
- ・大会会場であるアミノバイタルフィールドの使用ができない場合
- ・ブロック大会が50%以上実施できない場合 ※6ブロック以上
- ・参加チームが24チーム内 12チーム以上の参加辞退が出た場合
- ・2月12日までに、東京で「非常事態宣言」「まん延防止」が発令をした場合
- ・日本ラグビーフットボール協会として安全に開催できないと判断した場合

以上